

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 佐藤正道
 ガバナー補佐 網代智明
 会長 石川邦俊
 幹事 紺野容樹

情熱 行動
 感動 共有
 地区重点目標
 1. DEI を取り入れた会員増強拡大
 2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
 3. 活動の情報発信
 4. ネットワークの構築
 5. ポリイノベーション

2022-2023年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 ウィンザー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

1月は職業奉仕月間

第22回 [3094] 例会報告 令和5年(2023)1月19日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	30名
欠席会員	9名
出席率	76.92%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 川又康彦 ソングリーダー

◆四つのテスト 鈴木正実 職業奉仕副委員長

先週の誕生日 1月15日 島 隆章 会員

lunch time

◆会長の時間



まずは理事会の報告から、飯坂太鼓クラブへの寄付の件ですが、喜市郎会員とも相談し、一般の方にも飯坂ロータリークラブが寄付をしているのわかるように、何か考えていったらどうかという話になり、今後、学校と相談するという事で持ち越しになりました。2月12日の第二分区IMは、他クラブの活動などがわかる場になっており、懇親を深めるという場ですのでご出席をお願いいたします。2月16日の福島ロータリークラブとの合同例会について、会費の件が決定しました。今後の打ち合わせで、何をやるか決定し、中身の濃い例会にしたいと思います。また、大事なご報告ですが、私が推薦した斎藤等会員より退会届が出ております。少し例会を休むということができないので、一度、退会届を出して、また新たに数年後の早い時期に再入会したいという希望ですので、皆さんにご報告を申し上げます。来週は家族同伴新年夜間例会ですが、去年はコロナの状況で家族同伴忘年会が中止になりました。奥さん方にも私が会長になってから全然お会いしておりませんので、ぜひ家族同伴で開催したいと思っております。よろしくお祈りいたします。



ロータリーソング

四つのテスト

米山功労クラブ伝達



証書・メダル伝達



◆幹事報告 紺野容樹 幹事

A. 来信

①ガバナー 佐藤正道 氏より
 「2022-23年度マスコミ懇親会開催の案内」
 と き 3月10日(金) 13:30~16:40
 と ころ 郡山ユラックス熱海

③ロータリー米山記念奨学会より
 「飯坂ロータリークラブ米山功労クラブ
 第12回米山功労クラブ証書伝達2022年11月表彰」

②国際ロータリー日本事務局より 「証書及びメダル伝達 2022年11月表彰」
 島 隆章 会員 (PHF4) 鈴木義明 会員 (PHF3) 吾妻一夫 会員 (PHF1) 大内勝行 会員 (PHF) 紺野容樹 会員 (PHF)
 川又康彦 会員 (PHF) 白川敏明 会員 (PHF) 鈴木正実 会員 (PHF) 鈴木牧子 会員 (PHF)

B. メーキャップ報告 1/17 地区行事 佐藤真也 会員

◆2022-2023年度「マスコミ懇親会」について 佐藤真也 地区公共イメージ・IT委員会副委員長

今年度のマスコミ懇談会のご案内をさせていただきます。公共イメージ・IT委員会副委員長として企画させていただきましたが、3月10日ユラックス熱海にて1時半より開催いたします。内容は、第一ゾーンの公共イメージコーディネーター補佐である寺嶋さんをお招きし、ご講演いただく予定です。マスコミ各社から7名の方とロータリアン4名を交えて、パネルディスカッション等も予定しております。オンラインでも参加できますので、お時間ある方は Zoom でご覧いただけます。クラブの情報発信等々、公共イメージの部分は、決して委員会だけではありません。クラブメンバー全員で今後についてお願いしたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計74s】

鈴木 義明 会員 8s スピーチたのしみしております。ポール・ハリス・フェロー(3回)のメダルいただきました。
 千葉 行政 会員 5s ・久しぶりのスピーチをさせていただきます。皆様、ぐっすりお休み下さい。
 斎藤 孝裕 会員 5s 長期欠席お詫び 今年もよろしくお祈りいたします。千葉さんのスピーチたのしみです。
 服部 裕一 会員 3s 本日の千葉行政会員のひさしぶりのスピーチ“房総”しないで“銚子”よく、おもしろいスピーチ楽しみで～す。おわり
 吾妻 一夫 会員 5s 千葉さん、スピーチ楽しみにしています。 生田且正志 会員 5s 千葉さんのスピーチ楽しみます。

畠 隆章 会員 5 s	ポール・ハリス・フェローを頂いて(4回目)	石川 邦俊 会員 3 s	千葉会員スピーチたのしみをしています。
紺野 容樹 会員 3 s	千葉会員のスピーチ楽しみにしていました。	安齋 忠作 会員 3 s	千葉さん、スピーチ楽しみにしています。
堀切 孝敏 会員 3 s	欠席おわびと千葉さんの講演楽しみに	村上 裕司 会員 3 s	千葉会員のスピーチ楽しみにしています。
鈴木 牧子 会員 3 s	ミスター千葉のスピーチ楽しみにしています。	西山 友幸 会員 3 s	千葉さん、スピーチ楽しみです。
鈴木 正実 会員 3 s	千葉さんご苦労様です。拝聴いたします。	渡辺 達也 会員 3 s	千葉さん、スピーチ楽しみにしています。
油井 明則 会員 3 s	千葉さんのスピーチ楽しみにしています。	高倉 伶 会員 2 s	千葉会員のスピーチ楽しみにしています。
賢司 賢司 会員 2 s	千葉会員のスピーチ楽しみにしてきました。がんばってください。		
菅野 浩司 会員 2 s	千葉会員のスピーチすごく楽しみにしています。よろしく願いいたします。		
伊堂 里佳 会員 2 s	長めの欠席すいません。千葉さんの話、たのしみです。		

◆会員スピーチ

千葉政行 会員



本当に久しぶりのスピーチで、かなり緊張しております。私がロータリークラブに入って、去年30周年でしたが、皆さんもいろんな事情があって、ロータリークラブには入っているのだらうと思います。私は昭和60年に会社を立ち上げたので、とてとてもロータリーに入ることすら考えたこともなかったのですが、とにかく花水館に来いと言われて、強引に入会が決まりました。今は新しく入った方をロータリークラブの仲間は、非常に優しく迎えてくれると思うのですが、そうそうたるメンバーの方でしたから、当時は緊張して、ロータリークラブに行っても、誰とも話すことなく食事をして帰る日々でした。不思議なもので、ちゃんと出席していると優しい方がたくさんいて、声をかけていただくようになりました。それから「ロータリーっていいな」と思うようになりました。当時、先輩方のスピーチを聞いて「すごいなあ、俺もロータリークラブでしゃべれるようになったら、こういう風に話ができる人になろう」という思いがありました。それぞれの話があって、本当に一つでも、自分に身に付くようなものは、持って帰ることにしております。私は勉強の場がロータリーだと思っております。他のクラブにもメーカーキャップをして、うちのクラブとどんな風に違うのか、こんな人がいるのだということで、勉強させていただいております。皆さんも機会があれば、他のクラブに行き、いろいろと勉強すればいいのではないかなと思います。

知らない方もいらっしゃると思いますので、自己紹介をちょっとだけさせていただきます。私はこう見えても、1955年生まれで今年68歳です。私は今、いろんなことをやらせていただいております。福島に住んでいる方は、この福島の良さがわからない。私は高校が終わってから、ペプシコーラの会社に就職し、福島市に配属になったのですが、そこに人が住むというのは「たまたま」なのです。そのたまたま住んでいるところを、好きにならなければ住んでいる意味がない。そこに住んでいる以上は、そこの街が好きだというのが大前提ではないでしょうか。私もよく言われるのです。なんで亀岡偉民さんや西山尚利さんの後援会長を引き受けたのかと。私はこの街が好きで、良くしたいと思っている人を応援するのは当然だと思っております。今はもう、それは趣味になってきました。私は国会議員の先生や県会議員の先生に何も頼むことはありませんので、後援会長を引き受けさせていただいております。下心があって、後援会長をやらせません。また、私は福島市・川俣町・飯野町合併協議会の福島議会請求者でした。私は最初から県北は一つだと思っております。『福島の歴史は伊達郡と共に』です。絹で栄えたのも、飯坂温泉が栄えたのも、やはり伊達郡があったからです。あの頃は30万人にならないと中核都市にはなりません。今、福島が28万人を保っているのは飯野町が入ったからです。川俣町が離脱して、その夢は叶わなかったのですが、将来的に考えて飯野町は合併、川俣町は周りの反対を説得できず離脱してしまいました。選挙でも、何でも、1票の格差と言いますか、数は力なのです。私はゆくゆくは伊達も合併し、40万都市になればと思っております。中央から様々なところが地方に出店する時には人口の数なのです。まずは購買力のあるところに来るのです。ですから、福島市がこのまま28万でいいのかという問題です。あとは「福島県にJリーグをつくる会」の会長もさせられました。今の鈴木勇人社長のなんとしてもここにJリーグを作って、街中を活性化したいという熱い思いに押し切られました。今は渡邊会頭が会長で「スタジアムをつくる会」の後援会が立ち上がって、皆さんに応援をしていただければ、今は千人ぐらいしか入りませんが、それがJ2に行ったら4千人、J1に行ったら、その倍の人がこの福島に来てくれるようになるのです。定住人口は増えませんが、交流人口、流動人口を増やしていく。これが最大の課題ではないでしょうか。スポーツにはそういう力が私はあると思っております。皆さんもスタジアムに足を運んでください。本当に面白いです。今、極真空手門馬道場という、県内で800人以上の子供たちが所属している道場があります。そこが福島市に道場をつくるということで、私は後援会長をやらせていただいております。一度、空手の大会においでと言われて行ってみたら、本当に感動するのです。防具は付けておりますが、小さな子供たちが本気になって戦って、お互いボコボコになって、試合が終わってステージから降りた時に、お母さんに抱きついて泣いているのです。それでも空手をやっているのです。本当に感動しました。また、聖光学院で、私が学校評議員をやらせていただいているのもそうなのです。私は誰かを応援したいのです。学校とは本当に縁もゆかりも無いのですが、とにかく私は一生懸命やっている人を何とか応援したいなという思いで、いろんなところの応援をさせていただいております。

先ほどから何が言いたいのかという、人と出会って、やはり勉強する事が全てだと思っております。特にロータリーに入っているのは、人の話を聞いて、この人の歳になったら、こういう人の立場になったら、素敵なスピーチができる人になりたいという思いで、参加をさせていただいております。私のモットーは、いつも言っているのですが『何を食べるかではなく、誰と食べるか。どこに行くかではなく、誰と行くか。何をやるかではなく、誰とやるか』、その「誰か」になりたいなという思いで、今も一生懸命に励んでおります。50周年の時も、あれだけの人数で、1500人のお客さんを迎えて、あれだけのことができたのです。この地域のためにできるようなことを今度は70周年ですから、盛大に祝いたいなと思っております。これからも仲間を増やしながら、この飯坂で我々に何ができるか考えながら、活動していきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。